

§2.3.1 スケール変数の集計表 (2)

スケール変数である**bwt**(出生時体重)、**age**(母親の年齢)、**ftv**(妊娠の最初の3ヶ月の受診回数)、**ptl**(早産の回数)について、**smoke**(喫煙の有無)のカテゴリによって分割する以下のような集計テーブルを作成する手順を確認します。

	喫煙の有無					
	全体		あり		なし	
出生時体重(g)	2944.1	(728.60)	2773.2	(660.34)	3054.2	(751.68)
母親の年齢	23.3	(5.31)	22.9	(5.05)	23.5	(5.48)
妊娠の最初の3カ月の受診回数	.8	(1.06)	.8	(1.18)	.8	(.98)
早産の経験	.2	(.49)	.3	(.62)	.1	(.38)

mean(SD)

Figure2.3.1 作成するスケール変数を用いた集計テーブルの例

操作手順

1. 分析メニュー > テーブル > カスタムテーブルを選択します。

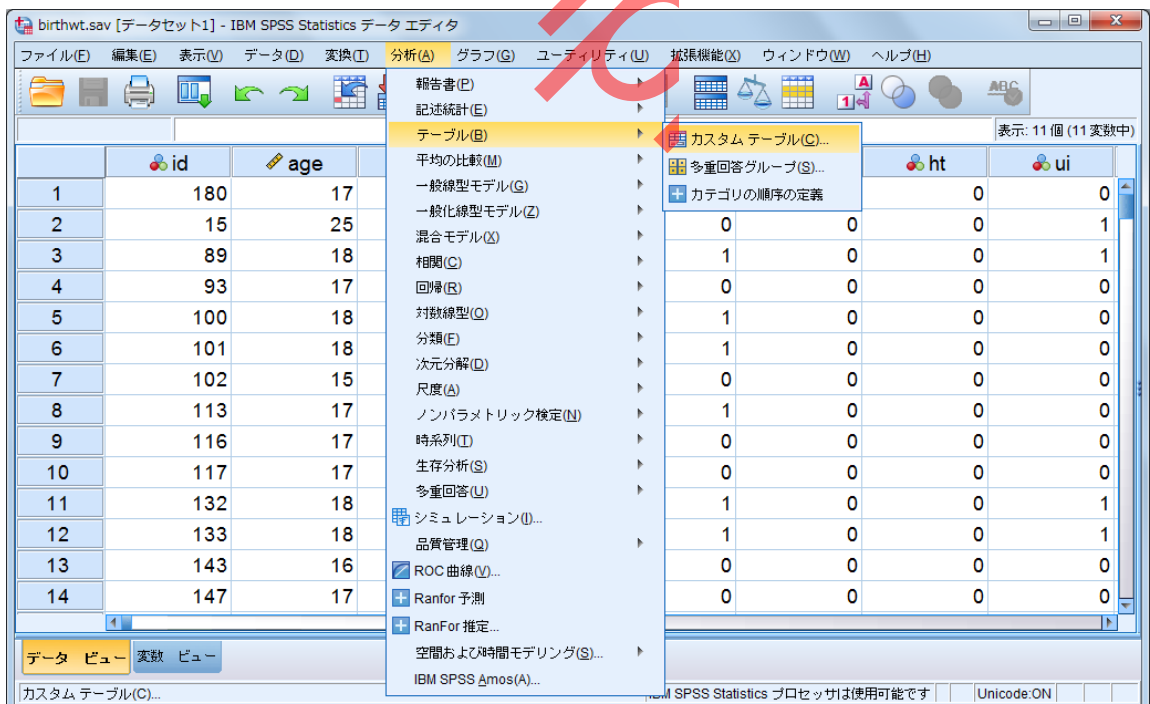


Figure2.3.2 カスタムテーブルサブメニュー

操作手順

2. (表示される確認メッセージボックスの)OKボタンをクリックします。
3. **戻す**ボタンをクリックします。
4. (表示される確認メッセージボックスの)**すべてのタブ**ボタンをクリックします。
5. **CTRL**キーを押しながら、**age**(母親の年齢)、**ptl**(早産の回数)、**ftv**(妊娠の最初の3ヶ月の受診回数)、**bwt**(出生時体重)の4つの変数をクリックします。
6. 選択された4つの変数を、プレビューの**行**ボックスにドラッグします。

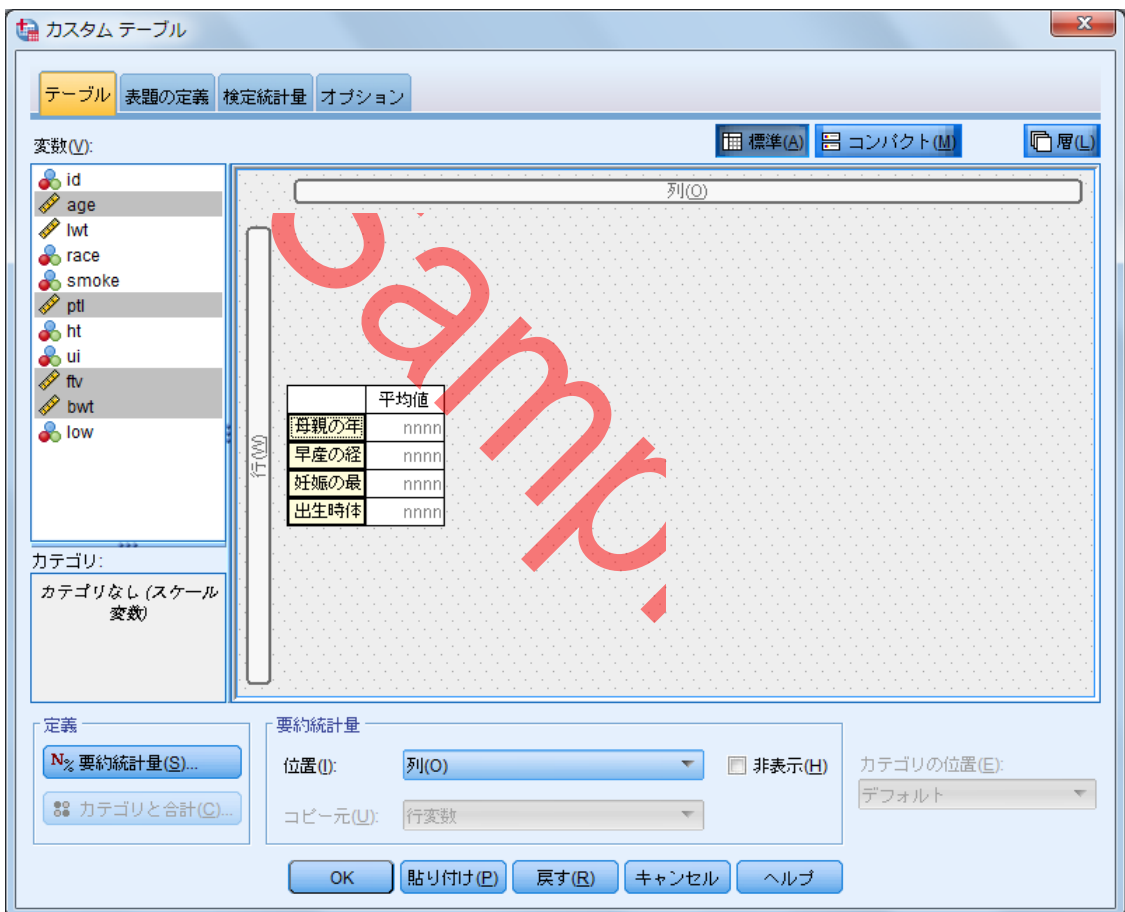


Figure2.3.3 カスタムテーブルの変数の指定

スケールの変数を指定したため、出力される統計量は自動的に**平均値**に設定されます。次に、変数の配置場所を一部変更します。ここでは、出生時体重を年齢の上に移動します。

操作手順

7. プレビューの行に配置されている**出生時の体重**を選択します。
8. プレビューの**母親の年齢**の上部にドラッグします。
9. **母親の年齢**の上部で罫線が変化したところでドロップします。

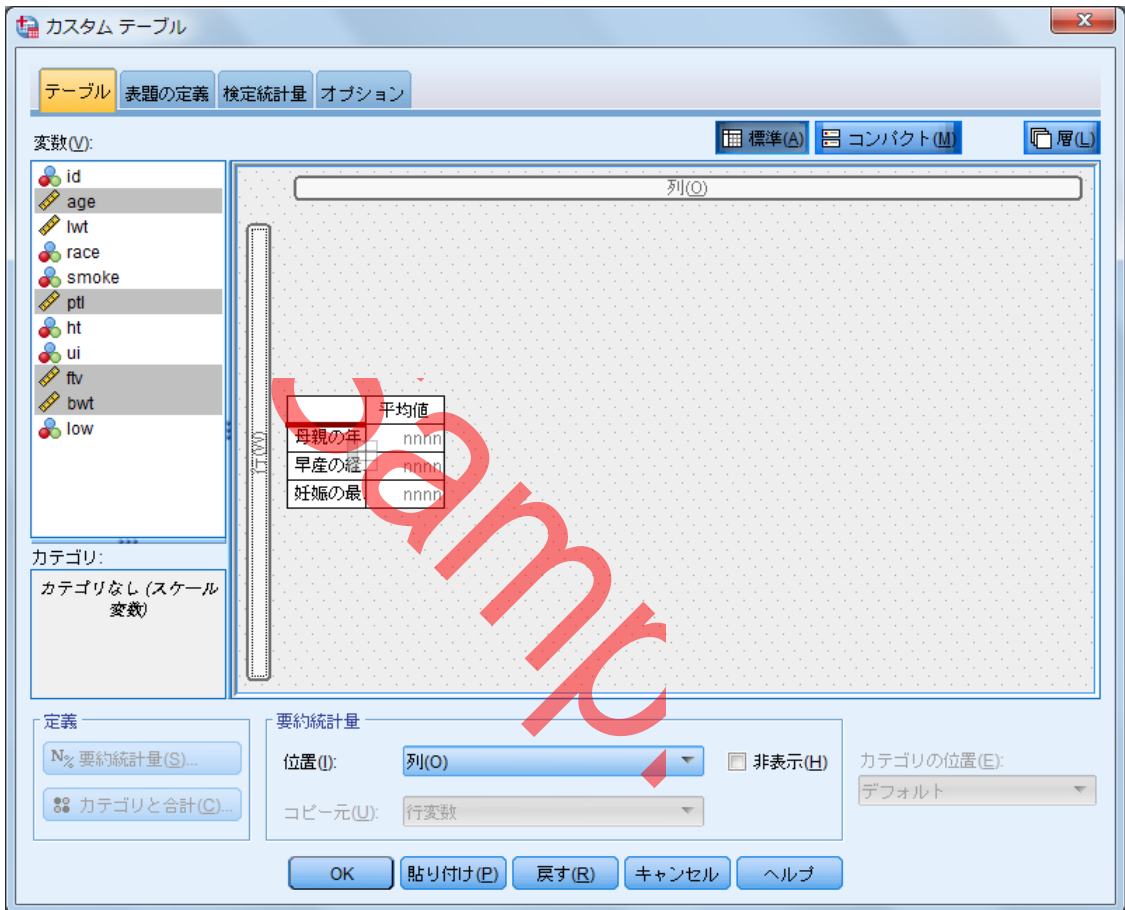


Figure2.3.4 カスタムテーブルの変数の配置の移動

POINT

カスタムテーブルダイアログボックスでは、プレビュー内に配置した変数をマウスでドラッグすることで、変数の表示位置や順番などを簡単に変更することができます。

	平均値
出生時体	nnnn
母親の年	nnnn
早産の経	nnnn
妊娠の最	nnnn

Figure2.3.5 変数の配置の変更

次に、**標準偏差**を追加で表示します。

操作手順

10. **要約統計量** ボタンをクリックします。
11. **標準偏差** を、表示ボックスに移動します。
12. **平均値の形式** を、**nnnn**に変更します。
13. **標準偏差の形式** を、**(nnnn)**に変更します。
14. **平均値の小数桁数** を、**1**に変更します。
15. **標準偏差の小数桁数** を、**2**に変更します。

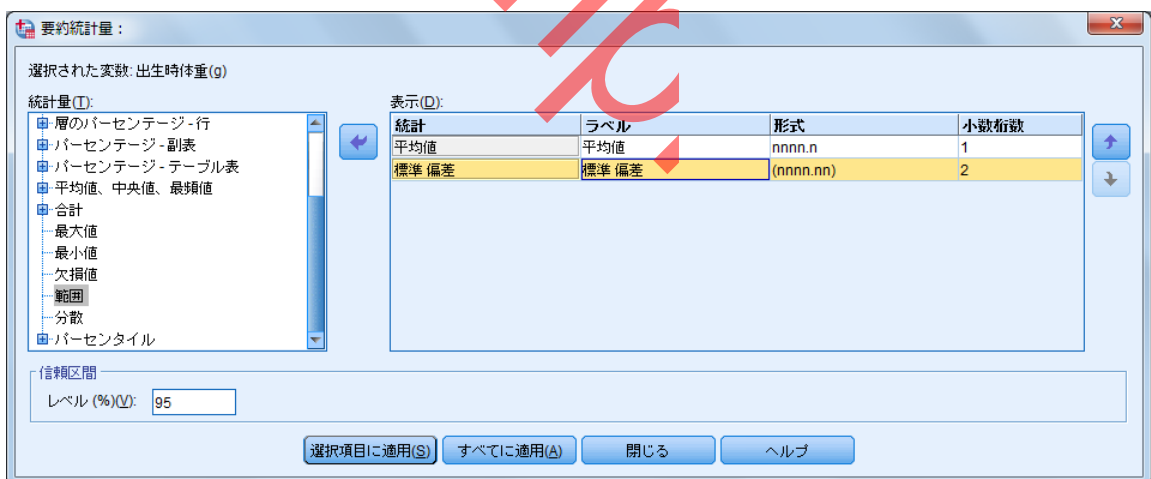


Figure2.3.6 要約統計量の指定

操作手順

16. **すべてに適用** ボタンをクリックします。
17. **閉じる** ボタンをクリックします。

POINT

すべてに適用 ボタンをクリックすると、プレビューに指定されているすべての変数に対して変更内容が反映されます。

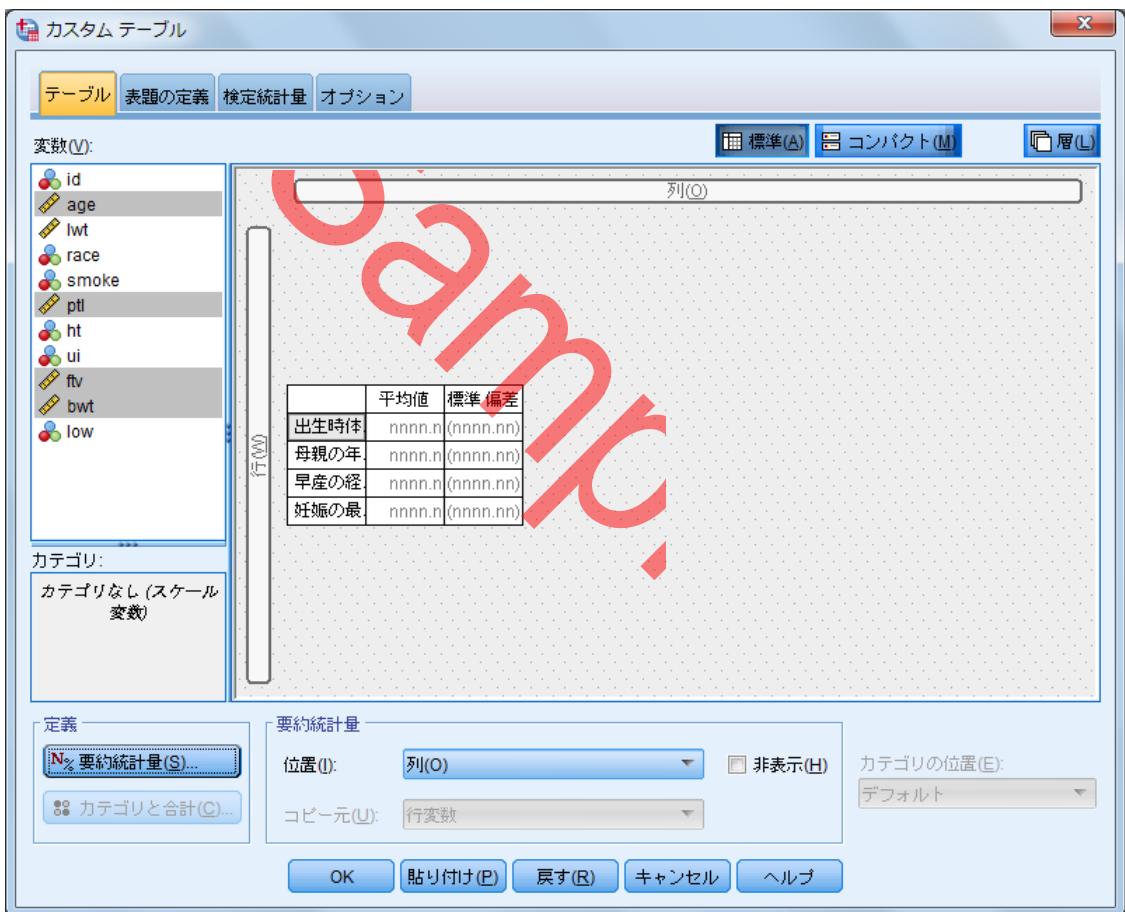


Figure2.3.7 要約統計量を指定したカスタムテーブルのプレビュー

続いて、**smoke**(喫煙の有無)を列に配置して、カテゴリ別に集計テーブルを分割します。

操作手順

18. **smoke**(喫煙の有無)を、プレビューの**列**ボックスにドラッグします。

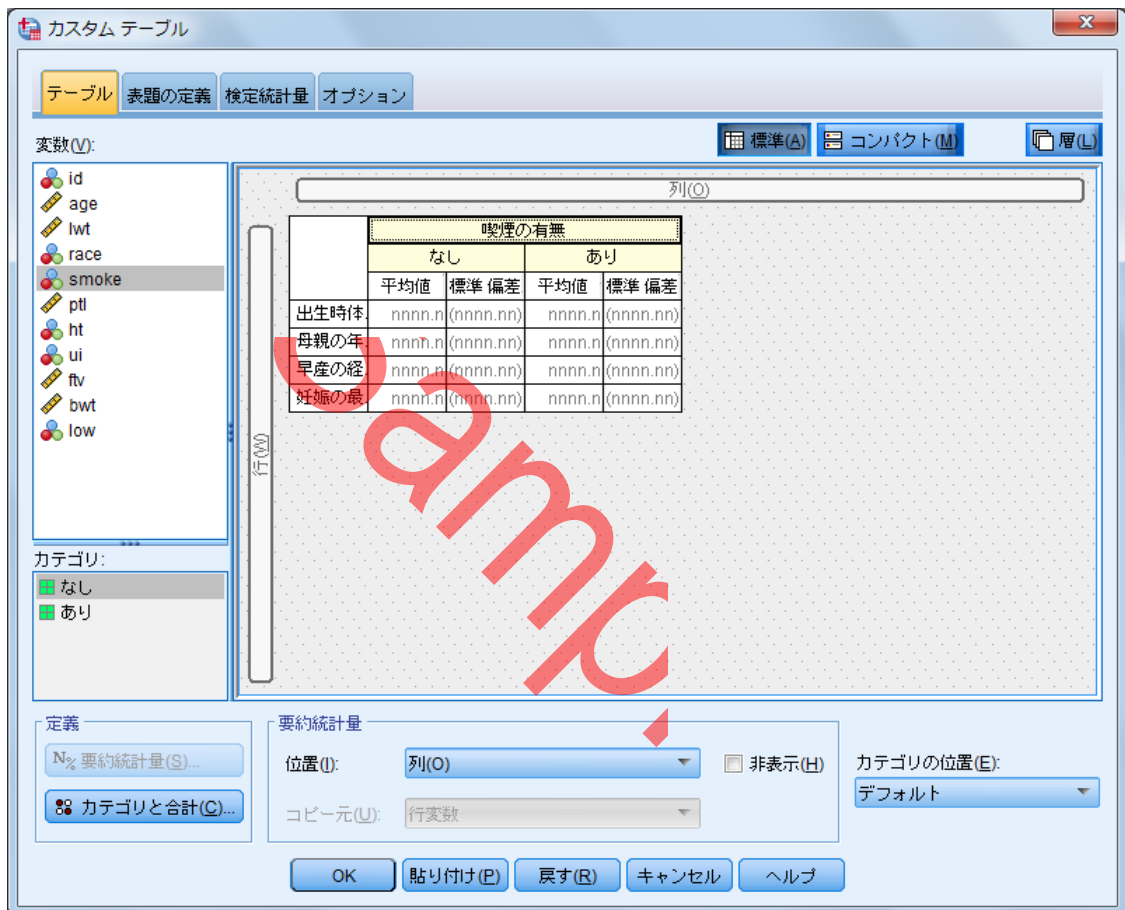


Figure2.3.8 列の変数の指定

喫煙の有無のカテゴリによって、**なし**と**あり**に分割された集計テーブルのレイアウトに変更されました。次に、カテゴリの表示順番を入れ替えて、さらに**合計**の列を追加します。

操作手順

19. **カテゴリと合計** ボタンをクリックします。
20. 表示の**なし**を選択して、**↓** ボタンをクリックします。
21. 表示の**合計**にチェックを入れ、ラベルを**全体**に変更します。
22. 合計と小計の表示の**上記のカテゴリに適用**を選択します。

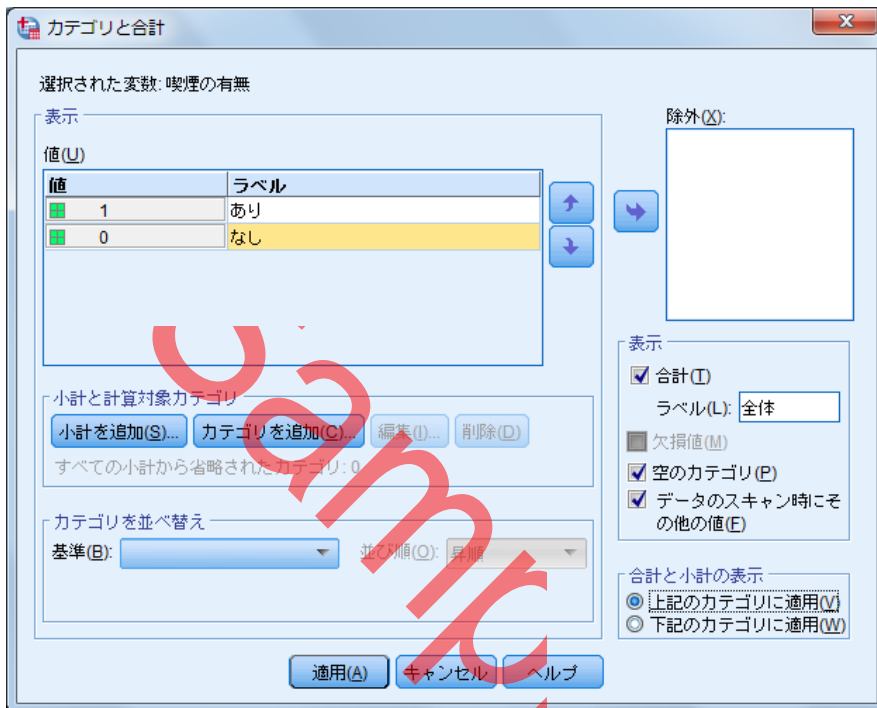


Figure2.3.9 カテゴリと合計ダイアログボックス

操作手順

23. **適用** ボタンをクリックします。

操作手順

24. 要約統計量の**非表示**のチェックを入れます。

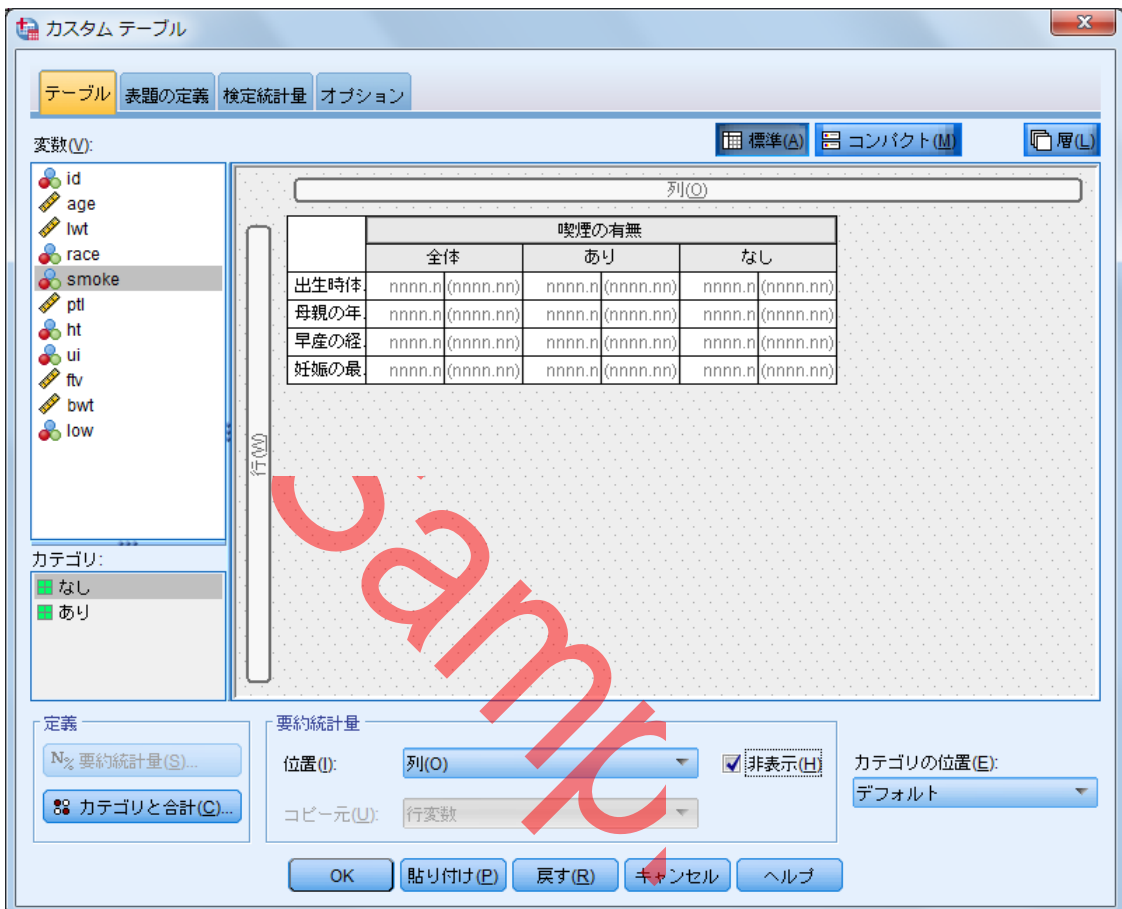


Figure2.3.10 要約統計量のラベルの非表示

要約統計量のラベルを**非表示**にすることで、平均値や標準偏差など同じラベルが繰り返し表示されて、集計表の表示内容が冗長になることを避けることができます。

POINT

要約統計量の**非表示**のチェックを入れると、各要約統計量の**ラベル**を非表示にすることができます。平均値や標準偏差など同じラベルが繰り返し表示されて冗長になる場合などに、集計表を見やすくするために利用されています。

最後に、**表題の定義**タブに切り替えて、集計テーブルの下部に要約統計量の内容が分かるような**解説**情報を追記します。

操作手順

25. **表題の定義**タブを選択します。
26. **解説**テキストボックスに**mean (SD)**と入力します。
27. **OK**ボタンをクリックします。

	喫煙の有無					
	全体		あり		なし	
出生時体重(g)	2944.1	(728.60)	2773.2	(660.34)	3054.2	(751.68)
母親の年齢	23.3	(5.31)	22.9	(5.05)	23.5	(5.48)
早産の経験	.2	(.49)	.3	(.62)	.1	(.38)
妊娠の最初の3カ月の受診回数	.8	(1.06)	.8	(1.18)	.8	(.98)
mean(SD)						

Figure2.3.12 スケール変数を用いた集計テーブル

指定した4つのスケール変数について、**喫煙の有無**のカテゴリで分割した集計テーブルが出力されました。要約統計量は平均値と標準偏差を指定しており、ラベルは**非表示**になっていますが、テーブル下部の解説によって、**mean(SD)**が表示されていることが分かります。

なお、標準偏差は括弧を付けて表示したことによって、セル内で文字データと認識されており、**左詰め**の表示になっています。

TIPS

基本的に、**数値型**のデータはセル内で**右詰め**の表示になり、**文字型**や**日付型**のデータはセル内で**左詰め**の表示になります。